



日本災害情報学会 第10回学会大会プログラム

— 東京大学 情報学環・福武ホール —

| | | | | |
|------------|-----------|---------------|-----|-----|
| 10月25日 (土) | 受付開始 | 8時45分～ | | |
| | 開会 | 9時30分～ | | |
| | 研究発表会 | 9時35分～11時45分 | A会場 | B会場 |
| | 昼休み | 11時45分～13時00分 | | |
| | 理事会 | 12時00分～13時00分 | | |
| | 研究発表会 | 13時00分～17時35分 | A会場 | B会場 |
| 10月26日 (日) | 懇親会 | 18時10分～20時00分 | | |
| | 受付開始 | 9時00分～ | | |
| | 研究発表会 | 9時30分～11時50分 | A会場 | B会場 |
| | 昼休み | 11時50分～13時00分 | | |
| | 総会 | 13時00分～13時40分 | A会場 | |
| | 廣井賞授賞式・講演 | 13時50分～14時50分 | A会場 | |
| | メディアセッション | 15時00分～17時00分 | A会場 | |
| | 閉会 | 17時00分～17時10分 | A会場 | |

会場：東京大学 情報学環・福武ホール

(地下鉄丸ノ内線・大江戸線 本郷三丁目、地下鉄南北線 東大前 下車)

参加費：会員 1,000 円 (非会員 3,000 円) 予稿集代：会員 2,000 円 (非会員 4,000 円)

懇親会会場：東京大学病院 1階「レストラン ねむの樹」 懇親会費：4,000 円

【大会会場】福武ホール(赤門を入れてすぐ左手の2階建てのビル) 地下2階

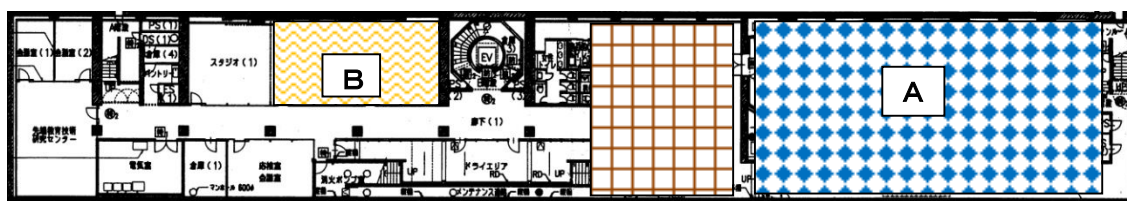


<福武ホール B2>

メディアセッション

B会場(スタジオ 2・3)

作品放映会場 A会場(福武ラーニングシアター)



10月25日 (土)

【開会】 挨拶 阿部勝征 日本災害情報学会会長

9時30分 A会場

【研究発表会】 (発表10分 質疑5分) ○:発表者

危機管理・防災対策 I A会場

午前の部A-I 危機管理・防災対策 9時35分～10時35分 (座長 松尾 一郎)

09:35 自衛隊の災害派遣活動に係る地方自治体の費用分担について

○水中 進一 (鳥取県) 平山 修久 (人と防災未来センター)

河田 恵昭 (京都大学)

09:50 原子力発電所の耐震安全余裕

○伯野 元彦 (攻玉社工科短期大学)

10:05 中越沖地震における被災者に聞く危険回避行動と減災対策

～「九死に一生」の方を対象とした面接調査から得られた地震防災対策～

○松尾 一郎 (環境防災総合政策研究機構) 関谷 直也 (東洋大学)

尾本 和彦 (内閣府)

10:20 市町村における災害対策の現状に関する調査 ～アンケート結果を踏まえて～

○小松 幸夫 (消防科学総合センター) 黒田 洋司 (消防科学総合センター)

木村 拓郎 (社会安全研究所)

神尾 久 (社会安全研究所)

休憩 10:35～10:45

午前の部A-II 危機管理・防災対策 10時45分～11時45分 (座長 黒田 洋司)

10:45 国際消防救助隊活動支援のための災害時被害推定に関する研究開発プロジェクト

○滝澤 修 (情報通信研究機構) 鄭 炳表 (情報通信研究機構)

細川 直史 (総務省消防庁) 松岡 昌志 (産業技術総合研究所)

11:00 国際緊急人道支援の調整制度の歴史的変遷の分析

○地引 泰人 (東京大学大学院)

11:15 災害時広報紙作成演習の試み

○黒田 洋司 (消防科学総合センター)

11:30 被災世帯の行政窓口相談履歴の分析に基づく支援制度自習システムの開発

○高島 正典 (富士常葉大学大学院) 田中 聡 (富士常葉大学大学院)

重川 希志依 (富士常葉大学大学院) 大脇 桂 (富士常葉大学大学院)

危機管理・防災対策Ⅱ B会場**午前の部B-I 危機管理・防災対策 9時35分～10時35分 (座長 千川 剛史)**

9:35 企業における地震防災対策の現状

- 中野 健秀 (大阪国際大学) 井上 市郎 (大阪国際大学)
- 塩谷 雅弘 (大阪国際大学)

9:50 大規模災害時のボランティア活動における情報通信技術活用の現状と課題

- 千川 剛史 (大妻女子大学)

10:05 新潟県中越沖地震以降の命を守るシステム構築に向けた行政の動向

～東京都渋谷区の動きを中心に～

- 堀井 宏悦 (読売新聞東京本社) 平山 修久 (人と防災未来センター)
- 河田 恵昭 (京都大学)

10:20 行政・報道・専門家が連携した減災の仕組みづくり

～人と防災未来センター「減災報道研究会」を題材に～

- 高橋 淳夫 (人と防災未来センター・読売新聞大阪本社)
- 宇田川 真之 (人と防災未来センター)
- 川西 勝 (人と防災未来センター・読売新聞大阪本社)

10:35～10:45 休憩

午前の部B-II 危機管理・防災対策 10時45分～11時45分 (座長 秦 康範)

10:45 過疎地域における災害情報共有システムの取り組み

- 辻 利則 (宮崎公立大学) 原田 隆典 (宮崎大学)
- 村上 啓介 (宮崎大学) 上条 秀元 (宮崎大学)

11:00 災害危機管理訓練・演習の体系化に向けた検討

- 秦 康範 (東京大学)
- 吉井 博明 (東京経済大学)

11:15 災害対応時における複数機関の連帯を視野に入れた現行の地域防災計画の分析

- 近藤 伸也 (人と防災未来センター) 東 太一 (中央大学大学院)
- 目黒 公郎 (東京大学)

11:30 新潟県中越地震発生後の情報途絶地域に生じた問題の諸相

- 照本 清峰 (人と防災未来センター) 福留 邦洋 (新潟大学)
- 近藤 伸也 (人と防災未来センター) 渡辺 千明 (秋田県立大学)
- 河田 恵昭 (京都大学)

昼休み 11時45分～13時00分

理事会 12時00分～13時00分

地震・防災教育 A会場**午後の部A-I 緊急地震速報 13時00分～15時05分 (座長 鷹野 澄)**

13:00 緊急地震速報の発表状況

- 土井 恵治 (気象庁) 松森 敏幸 (気象庁)
- 相川 達朗 (気象庁)

13:15 「緊急地震速報」はどのように伝わったのか テレビ放送と電話アンケート調査からの考察
○桶田 敦 (TBS テレビ) 田中 淳 (東京大学大学院)

13:30 一般向け緊急地震速報の情報提供方法の提言
○鷹野 澄 (東京大学大学院)

13:45 「緊急地震速報」～今と将来への課題～
○渡辺 実 (まちづくり計画研究所)

休憩 14:00～14:10

14:10 緊急地震速報の入手と住民の意識 ―岩手・宮城内陸地震に関する調査から―
○中島 良太 (サーベイリサーチセンター) 中村 功 (東洋大学)
中森 広道 (日本大学) 藁谷 峻太郎 (サーベイリサーチセンター)

14:25 緊急地震速報に対する情報利用者の認識について
○牛山 素行 (岩手県立大学) 矢守 克也 (京都大学)
篠木 幹子 (岩手県立大学) 太田 好乃 (岩手県立大学)

14:40 緊急地震速報と被害に関する教示が退避行動に与える影響
○村越 真 (静岡大学) 小山 真人 (静岡大学)
岩田 孝仁 (静岡県) 岩崎 大輔 (静岡放送)

14:55 緊急地震速報時の対応行動学習ツールの開発
○大原 美保 (東京大学大学院情報学環) 富田 瑠美 (元中央大学)
目黒 公郎 (東京大学)

休憩 15:10～15:40

午後の部A-Ⅲ 防災教育 15時40分～17時35分 (座長 矢守 克也)

15:40 「我が家の防災力」質問紙調査による組織間の比較 (その2)
○牧野 典子 (中部大学) 井野 盛夫 (富士常葉大学)

15:55 裏磐梯中学校での火山防災教育 10年の活動を振り返る
○佐藤 公 (磐梯山噴火記念館)

16:10 小中学校における新潟県中越沖地震時の情報伝達に関する事例報告
大学施設の防災力向上を目指すための基礎資料
○大東 宗幸 (日本大学大学院) 安達 洋 (日本大学) 安達 俊夫 (日本大学)
木原 雅巴 (日本大学) 酒匂 教明 (日本大学短期大学) 田嶋 和樹 (日本大学)

16:25 津波災害被災地における防災教育の課題 ―北海道奥尻島を例に―
○定池 祐季 (北海道大学大学院)

休憩 16:40～16:50

16:50 神戸市都賀川災害に見られる諸課題 ―自然と社会の交絡―
○矢守 克也 (京都大学) 牛山 素行 (岩手県立大学)

17:05 発展途上国における防災ゲームを用いた防災教育の実践とその評価
○Virginia Clerveaux (群馬大学大学院) 片田 敏孝 (群馬大学大学院)
金井 昌信 (群馬大学大学院)

17:20 災害対応時に地方自治体首長に必要な情報とは ―事例分析と演習設計を通じて―
○越山 健治 (人と防災未来センター) 近藤 民代 (人と防災未来センター)
紅谷 昇 平 (人と防災未来センター) 近藤 伸也 (人と防災未来センター)
河田 恵昭 (京都大学)

防災情報システム B会場

午後の部B-I 防災情報システム 13時00分～14時30分 (座長 中根 和郎)

- 13:00 交通流観測手法セルサイドプローブにおける経路判別性の検証
○八木 浩一 (災害時交通流監視システム研究会)
- 13:15 災害情報の時間・空間的变化ー災害情報とGISの活用に関する考察ー
○沢野 伸浩 (星陵女子短期大学) 石尾 志保美 (ナプラ・ゼロ)
藤元 伸 吾(NPO 法人基盤地図情報活用研究会) 小島 誠一郎 (ナプラ・ゼロ)
- 13:30 新しい災害時X線画像診断装置の構築
○沼野 智一 (首都大学東京大学院) 安部 真治 (首都大学東京大学院)
- 13:45 消防防災GISの実用可能性について
～H19新潟県中越沖地震での柏崎市をケーススタディーとして～
○齋藤 泰 (消防科学総合センター) 小松 幸夫 (消防科学総合センター)
- 14:00 道路浸水深の自動観測による浸水情報の提供
○中根 和郎 (防災科学技術研究所) 長坂 俊成 (防災科学技術研究所)
白田 裕一郎 (防災科学技術研究所)
- 14:15 直下地震検知器ー震央周辺の地震防災を可能とするオンサイト・ワーニング装置ー
○山口 耕作 (シグネット)

休憩 14:30～14:40

午後の部B-II 防災情報システム 14時25分～15時55分 (座長 湯瀬 裕昭)

- 14:40 webサイトを利用した地震防災情報配信システムに関する基礎的研究
地震災害における建物被害推定システムの構築について
○秦 一平 (日本大学) 石丸 辰治 (日本大学)
古橋 剛 (日本大学) 大野 勝亮 (日本大学)
- 14:55 災害時の通信手段としてのアマチュア無線の活用
○旭澤 大輔 (岩手県立大学大学院) 佐藤 洋介 (岩手県立大学大学院)
小笠原 弘樹 (岩手県立大学大学院) 千葉 豪 (岩手県立大学大学院)
佐藤 剛至 (岩手県立大学) 柴田 義孝 (岩手県立大学)
- 15:10 災害時安否確認における位置情報管理に関する検討
○久保 浩之 (日本大学大学院) 藤方 玲士 (日本大学大学院) 木原 雅巳 (日本大学)
- 15:25 災害時発生前後における大学内の安否確認手法の提案
○藤方 玲士 (日本大学大学院) 久保 浩之 (日本大学大学院) 木原 雅巳 (日本大学)
- 15:40 東海地震ドットネットの運用と課題
○湯瀬 裕昭 (静岡県立大学) 干川 剛史 (大妻女子大学) 柴田 義孝 (岩手県立大学)
河井 孝仁(東海大学) 岩田 孝仁 (静岡県防災局) 清水 慈子 (静岡県ボランティア協会)
山本 孝志 (静岡レスキューポータルネットワーク) 小島誠一郎 (東京いのちのポータルサイト)
海野 芳隆 (静岡県社会福祉協議会) 天野 竹行 (NPO 愛知ネット) 市川 啓一(レスキュー)

休憩 15:55～16:05

午後の部B-III 防災情報システム 16時05分～17時35分 (座長 天野 篤)

- 16:05 気球ワイヤレスアドホックネットワークを利用した災害情報システム
○柴田 義孝 (岩手県立大学) 旭澤 大輔 (岩手県立大学) 佐藤 洋介 (岩手県立大学)
小笠原 弘樹 (岩手県立大学) 千葉 豪 (岩手県立大学) 高畑 一夫 (埼玉工業大学)

- 16:20 災害時第二通信網の成立と今後の発展方向
 ○守 茂昭 (都市防災研究所) 小出 治 (東京大学)
 大和田 清隆 (都市防災研究所) 土肥 英生 (都市防災研究所)
 関口 順子 (都市防災研究所)
- 16:35 リスクガバナンスを支える災害リスク情報プラットフォームに関する研究開発
 ○長坂 俊成 (防災科学技術研究所) 臼田 裕一郎 (防災科学技術研究所)
 藤原 広行 (防災科学技術研究所)
- 16:50 相互運用型災害リスク情報データベースの構築 ～専門知と経験知の活用に向け～
 ○天野 篤 (防災科学技術研究所) 臼田 裕一郎 (防災科学技術研究所)
 長坂 俊成 (防災科学技術研究所)
- 17:05 災害リスク情報に基づく地域コミュニティ防災対策支援システムの研究開発
 ○岡田 真也 (防災科学技術研究所) 長坂 俊成 (防災科学技術研究所)
 臼田 裕一郎 (防災科学技術研究所)
- 17:20 災害リスク情報モバイルアラートシステムの研究開発
 ○臼田 裕一郎 (防災科学技術研究所) 長坂 俊成 (防災科学技術研究所)

10月26日 (日)

【研究発表会】

水害・土砂災害・噴火災害 A会場

午前の部A-I 水害・土砂災害 9時30分～10時30分 (座長 須見 徹太郎)

09:30 〈土砂ダム〉考

○須見 徹太郎 (東京大学大学院)

09:45 豪雨災害に係る情報提供の拡充化とその下での自治体・住民の対応にみる現状と課題

○児玉 真 (IDA社会技術研究所)

本間 基寛 (群馬大学大学院)

片田 敏孝 (群馬大学大学院)

若田部 純一 (群馬県県土整備部)

10:00 giSightを用いた防災システムの開発

○森山 聡之 (崇城大学)

中山 比佐雄 (シエスタクラブ)

今 匡太郎 (NPO 法人楽しいモグラクラブ)

平野 宗夫 (NPO 法人防災ネット研究所)

疋田 誠 (鹿児島工業高等専門学校)

休憩 10:15～10:35

午前の部A-II 土砂災害・噴火災害 10時35～11時50分 (座長 金井 昌信)

10:35 災害監視における映像情報の活用 土砂災害の前兆現象検知の検討

○岡本 健 (日本電信電話)

渡辺 敏雄 (日本電信電話)

伴 弘司 (日本電信電話)

前田 裕二 (日本電信電話)

花沢 明俊 (九州工業大学)

森江 隆 (九州工業大学)

10:50 土砂災害を対象とした住民主導型自主避難体制の確立を目指した取り組み

○金井 昌信 (群馬大学大学院)

片田 敏孝 (群馬大学大学院)

- 11:05 噴火罹災遺跡の調査を防災啓発へ繋げる試みについて
 —三宅島火山とイタリア・ヴェスヴィオ火山の遺跡調査を例に（事例報告）—
 ○新堀 賢志（環境防災総合政策研究機構） 杉山 浩平（東京大学農学部）
 忍澤 成視（市原市埋蔵文化財センター） 池谷 信之（沼津市文化財センター）
 松田 陽（ロンドン大学） 藤井 敏嗣（東京大学）
- 11:20 雲仙普賢岳災害の復興評価に関するアンケート調査
 ○高橋 和雄（長崎大学） 寺島 健太（長崎大学） 中村 聖三（長崎大学）
- 11:35 キラウエア火山 2008 年ハレマウマウ火口の火山活動
 火山観光地における防災対応の事例
 ○宇井 忠英（環境防災総合政策研究機構） 伊藤 晋（環境防災総合政策研究機構）

災害情報と住民 B会場

午前の部B-I 災害情報と住民 9時30分～10時30分（座長 宇田川 真之）

- 09:30 爆弾低気圧の接近時における住民の危機意識醸成過程に関する研究
 ○本間 基寛（群馬大学大学院） 片田 敏孝（群馬大学大学院）
 村澤 直樹（群馬大学大学院）
- 09:45 情報取得がおよぼす避難行動の違いについて
 ○中村 真弓（電気通信大学大学院） 田中 健次（電気通信大学大学院）
 稲葉 緑（電気通信大学大学院）
- 10:00 平成 20 年 7 月美浜町における防災無線のミサイル着弾誤放送と住民の対応
 —電話（RDD）調査によるアンケート結果より—
 ○宇田川 真之（人と防災未来センター） 田中 淳（東京大学大学院）
 須見 徹太郎（東京大学大学院）
- 10:15 土砂災害警戒情報の周知・伝達手段の実態と住民の認識
 ○小嶋 伸一（国土技術政策総合研究所） 小山内 信智（国土技術政策総合研究所）
 西本 晴男（国土技術政策総合研究所） 千田 容嗣（土木研究所）

休憩 10:30～10:35

午前の部B-II 災害情報と住民 10時35分～11時50分（座長 中森 広道）

- 10:35 リスク認知形成モデルを用いた防災情報の波及効果の検討
 数理モデルによるケーススタディ
 ○廣井 悠（東京大学大学院） 小出 治（東京大学大学院） 加藤 孝明（東京大学大学院）
- 10:50 一人暮らしの若者と防災意識 ～都市部居住者を対象とした調査からの考察～
 ○中森 広道（日本大学）
- 11:05 地形認知と津波リスク認知の関係について
 ○太田 好乃（岩手県立大学） 牛山 素行（岩手県立大学）
 吉田 亜里紗（岩手県立大学）
- 11:20 地域特性をふまえた防災啓発活動の実践 —住民全体の防災まちづくりへの試み—
 ○蔡 垂功（大阪市危機管理室）
- 11:35 議題設定効果に着目した災害報道の分析
 ○川西 勝（人と防災未来センター・読売新聞大阪本社）

昼休み 11時50分～13時00分

【災害情報コンテンツ放送】 9時35分～13時00分 (地下2階ホワイエ)

【総会】 13時00分～13時40分 A会場

【廣井賞授賞式・記念講演】 13時50分～14時50分 A会場

【メディアセッション】 15時00分～17時00分 A会場
(コーディネーター 山崎 登・谷原 和憲)

(発表順未定)

1. 立体映像による土砂災害防止の啓発
 - 覚幸 公哉 (NPO 法人砂防広報センター)
 - 鹿角 優邦 (NPO 法人砂防広報センター)
2. リスクガバナンスからみた柏崎市FMピッカラ災害放送の検証
 - 発生後3日間を中心として —
 - 船崎 幸子(柏崎コミュニティ放送) 長坂 俊成 (防災科学技術研究所)
 - 白田 裕一郎(防災科学技術研究所) 高橋 明子 (社会安全研究所)
 - 安倍 祥 (社会安全研究所) 天野 竹之 (NPO 法人愛知ネット)
3. 地上デジタル放送データ放送を用いた河川情報の提供実験報告
 - 大和川下流域を対象としたデータ放送による河川情報の提供実と課題—
 - 山下 雄司 (読売テレビ放送)
4. アニメーションを活用した災害対応力向上のための取組み
 - 綿引 大作 (東京ガス)
5. 家具を留めようしっかりと 室内災害の事例集
 - 中川 洋一 (浜松学院大) 福島 孝幸 (全日本地震防災推進協議会)
6. 現代版「稲村の火」津波防災教育教材の制作
 - 尾崎 弘和 (和歌山県教育庁)
7. 揺れる前に放送された、初の緊急地震速報
 - ～岩手・宮城内陸地震におけるTBCの対応と視聴者の反応～
 - 橋本 俊一 (東北放送) 後藤 健 (東北放送)

【閉会】挨拶 A会場(福武ラーニングシアター) 17時00分
第10回学会大会実行委員長 鷹野 澄